

# 2022 年度第 11 回理事会 議事録 2022.3.16

日時：2023 年 3 月 16 日（木）19：00～22：48

場所：オンライン開催のため各自自宅・職場

出席理事：神保武則(会長)、金山桂(副会長)、吉本雅一(事務局長)、玖島弘規、佐々木秀一、奥原孝幸、佐藤隼、遠藤陵晃、野本義則、神田崇央、佐藤範明、木村修介、戸塚香代子、澤口勇、望月強併、西川航平、大郷和成(17 名)

欠席理事：田中ゆかり(副会長)(1 名)

出席監事：錠内広之、野々垣睦美(2 名)

## I. 会長より挨拶

本日の理事会も多数の議案があります。円滑な議事運営にご協力をお願いします。先日今年度最後の 47 都道府県委員会が開催され出席しました。後ほど報告しますが来年度からは日本作業療法士協会を併せて 48 委員会となる予定です。

## II. 審議事項について

1. 特定非営利活動法人しろい地図 「福祉を創る学校」 後援申請について →承認

2. 神奈川県作業療法士会 功労表彰者について →承認

3. 費用弁償規則の修正について →承認

併せて費用支給方法に関して社会的に広く活用されている方法が使用できるように検討を継続する。

4. 組織規程の修正について →承認

関連事項として賛助会員の枠組み、会費の設定、他団体との関係性については引き続き検討していく。

5. 三役互選方法(三役互選内規)について →承認

理事アンケートを踏まえて、公正に互選を行うために今回は現行の方法に加えて、立候補理由を述べる順番と質疑応答の機会を設けることを追加する。今後も選挙がより公正に行えるよう引き続き課題を抽出し理事会で検討を続けていく。

6. 理事・監事候補の推薦について

理事 3 名、監事 2 名の推薦候補について承認。また定員 18 名に対して 3 名少ない状況に関して、候補者を再検討していくこととした。期間が非常に短いため具体的な候補者(8 名)を挙げて対象者へ各役員より直接相談することとする。各部署部員や養成校教員、各領域など幅広い範囲での候補者の検討を行った。3 月 22 日に臨時理事会を開催し、内諾を得られた候補者について審議することとする。

## IV. 報告事項について(各部署・理事)

### 【各部署】

#### 1. 事務局

(1)事務局について

事務局員の後任について推薦があった。採用面接を進める。

事務局員の業務把握と整理のためリスト化を進めている

#### 2. 事務局・財務部・福利部

(1)第 10 回社員総会に向けて 総会、監査、表彰、その他

- ア)事務局 一般会員の傍聴に関しては後日ホームページを使用して希望を募集。  
議案書については各部署 20 日締め切りとなるので作成を改めて依頼。  
総会当日役員は遅れることが無いように出席を依頼するが万が一遅れた場合は質問等へ対応があるため出席できるよう対応する。代議員については議決に関わるため時間厳守を依頼。  
理事・役員の当日の交通費等の支給に関してクオカード支払いについて確認→異議なし。
- イ)財務部 4月8日期末監査を実施。事業終了後に速やかに監査手続きを行うように改めて依頼。
- ウ)福利部 功労表彰者に関して確認し表彰式(社員総会時)への出席を依頼する。次月理事会で報告する。

### 3. 福利部

#### (1)写真コンクール投票結果について

3 作品の応募があった。最優秀作品賞を理事会投票で決定した。

### 4. 学会評議委員会・第 5 回臨床作業療法実行委員会

#### (1)第 5 回神奈川県臨床作業療法大会報告

収支については問題なく決算が完了。県士会監査へ必要書類を郵送予定。事業費の残金についても返還する。3月をもって臨床大会ホームページを閉鎖する予定。使用した備品に関しては事務局へ郵送保管し後日学会評議委員会にて詳細を確認予定。学会実行委員会、学会評議委員会、協力いただいた皆様に改めて感謝申し上げたい。

### 5. 公益法人化対策委員会

#### (1)第 2 回県民公開講座報告

開催日時：令和 5 年 3 月 5 日（日）14 時～16 時(オンライン)

タイトル：「川崎市における災害福祉・在宅医療的ケア児・者への取り組み～人工呼吸器使用者への災害時電源確保事業のご紹介～」

講師：広岡真生 氏（川崎市健康福祉局総務部危機管理担当 課長補佐）

申込者：20 名(会員 4/他県士会 3/非会員 1/支援者 6/家族 5/その他 1)

参加者：15 名(会員 4/他県士会 2/家族 4/支援者 4/その他 1) ※多職種の参加があり

ホームページやチラシ、口コミで企画を知り参加されていた。川崎市の実際の取組を知れて大変安心したという感想をいただいた。また実際には避難せず自宅で待機する当事者が多いことが分かった。

### 6. 認知症対策委員会

#### (1)認知症に関わる士会担当者意見交換会報告

①政府の認知症政策について②都道府県士会における認知症取り組みアンケート結果③鳥取県作業療法士会の取り組み－認知症支援の取り組みと他団体との連携－④担当者同士の情報交換会を行った。

認知症施策推進大綱のフォローアップについての情報提供、アンケートでは 2021 年と 2022 年の事業遂行状況の比較や要因(新型コロナウイルス感染症の影響)についての共有、鳥取県の取組状況(研修会の参加した作業療法士 111 名をリスト化し事業実施を依頼する)についての共有があった。特に鳥取県の取組については当会にとっても非常に参考になると感じた。

### 7. 地域包括ケアシステム推進委員会

#### (1)横浜市事務検討会報告

今年度の派遣は 206 件中作業療法士 45 件であった。With コロナということ踏まえて昨年度と比較してもほぼ同様の件数であった。また新型コロナウイルス感染症の流行前とほぼ同様の派遣回数となっている。令和 5 年度は現在時点で 39 件の依頼をいただいている。本派遣事業だけでなく、地域ケア会議など集計に挙がらない派遣ケースもあり、年々作業療法士の関りが増加していると横浜市は分析されている。本事業以外の派遣件数に関しては当会としては概ね把握しており、当会の会員が直接依頼をいただいて協

力していることを伺っている。今後はこう言ったケースも県士会実績として報告していくことを検討する。

## 【理事・三役】

### 1. 澤口理事

#### (1) 会員増ワーキンググループ 活動報告と提言について

専門部署を立ち上げて課題分析、データ収集、企画調整など臨機応変に諮問できるように提言したい。また現在担当している福利部と協働を進め新入会員オリエンテーションを確実に実施し顔の見える関係づくりの場を提供できるようにしたい。養成校との関係構築も引き続き取り組んでほしい。研修会に関しては新人向け企画を無料で参加できるようにし、新入会員オリエンテーションを再度実施できるよう取り組んでほしい。事務局における会員情報の収集についても継続してほしい。

#### <意見交換>

○日本作業療法士協会の会員率が低下している中で、各都道府県も低下していると聴いている。当会も同様の状況があることを把握している。新しい会員を迎え入れる間口を広げていくこと、今後退会していく会員(定年退職)に対しても会員として継続して在籍いただけるような体制づくりが必要だと感じている。

○各養成校の定員割れが常態化している状況。今後成り手が少なくなることも予測される。作業療法士の興味関心を高めて、なりたいと思う人を増やしていけるように取り組んでいく必要がある。

○リハビリテーション業界全体が縮小化していくことが懸念される。まずはこの危機感を共有したい。

○高校生への職業紹介においても業界への興味関心の低下を強く感じる。

### 2. 大郷理事

#### (1) 子ども関連部署ワーキンググループ 活動報告

##### ア) ワーキングにて検討・実施した内容

##### ● 会員からの意見収集

県士会会員であり医療・福祉(児童発達支援)・学校・養成校に所属する作業療法士から意見を聴取

##### ● 経過と現状課題の共有

① 協会の重点課題である学校に関わる作業療法士の育成強化において、学校作業療法士が県立養護学校に配置されているが、県士会には情報がなく現場と連携をとることができなかった。

② 県立養護学校に在籍する作業療法士だけでなく、近年療育センターや地域の事業所なども訪問支援に出向くようになってきている。また発達領域に関わらず他領域にも依頼があるなど、園や学校に関わる療法士数はかなり多いと予想される。しかし、県内で働く発達領域療法士の横のつながりが少なく、学校に限らず限定された人同士のつながりに依存している。

③ 作業療法士の職域拡大に伴い、特に福祉領域では経験年数が浅く一人職場の会員などもおり、作業療法士としてのアイデンティティの確立が揺らいでいる、キャリアモデルとなるケースがない(少ない)などの現場がある。

④ 医療福祉教育から卒後(成人期)への移行を視野に連携を図る必要があるが、移行支援をスムーズにしていくためのネットワーク作りが今後必要と予想される。

⑤ 発達領域の会員のニーズを県士会としてつかめていない可能性がある。

##### ● 日本作業療法士協会制度対策部主催 教育領域への作業療法士参画に向けた意見交換会への参加並びに現状調査への協力

##### イ) ワーキングから理事会への提案

理事だけではなく発達領域に関わる幅広い層の会員を交えて情報交換を行いながら、現状を把握すると共に、課題を整理していく必要がある。そのため次年度は会員を交えながら委員会設立も視野に意見交換会を実施していきたい。地域リハビリテーション部の発達部門にて検討を続けていく。

### 3. 金山理事

#### (1)選挙ワーキンググループ 選挙管理委員の選定方法について

選挙管理委員会から依頼を受けて選定方法を検討した。公募について検討したが県士会活動について全く関わりの無い方に就任し運営していただくことは難しいと判断した。社員総会までに選挙管理委員会を選出し臨時理事会で決定する必要があるため、理事会から次期選挙管理委員について推薦をいただきたい。

#### <意見交換>

- 理想は公募であると感じるが現状では提案された方法が現実的になるのか
    - マニュアル作成を進めているが何も知らない会員が全てを理解し運用できるまでブラッシュアップされていないため、今後も理事会との連携は必要となる。公正を保ちながらも連携を継続する必要があることを鑑みて提案している
  - 半数を公募など工夫はできないか
    - 将来的には公募を行う準備は進めていたが、5月の社員総会までに委員を選出する必要があるため期間として難しいと判断
    - 現選挙管理委員長が後任委員長に引継ぎを行うことは検討している
  - 公正性、透明性を担保できるように引き続き準備を進めてほしい
  - 代議員から選出することはできないか
    - 規程上できない
  - 当会を運営するために社員総会までに選挙管理委員会を推薦する必要があることを共通認識してほしい
  - 理事会全体の課題であり来年度も円滑に運営していくためには今年度中に検討しておく方が良いと考える
- #### <結論>

理事会を代表して選挙ワーキンググループより現職の選挙管理委員に継続の意向を確認する。その結果をも共有しながら推薦者の検討も理事会にて行い情報共有していく。

### 4. 神保会長

#### (1)40周年記念事業について

事業が終了し支出報告を行った。

#### (2)組織改編について

1～2月にかけて各グループで行った意見交換を集約。次月改めて組織改編について共有確認する。

#### (3)第4回47都道府県委員会について

3月11～12日の2日間対面とオンライン参加のハイブリットで開催された。主に以下の内容に関して報告共有意見交換があった。

①中村会長よりトピックスとメッセージ

②倫理委員会 「倫理問題案件処理フロー」の「受付段階における処理・対応方法」

③国際部、APOTC 実行委員会

「外国人に対するOTガイドライン作成」、「海外OT免許取得者に関する調査」、第8回アジア太平洋作業療法学会（APOTC）の広報活動

④地域社会振興部 次年度の地域社会振興部の移行後の取り組みについて

⑤制度対策部 活動報告

⑥教育部 臨床実習指導者講習会についてと新しい生涯学修制度について第1報

⑦組織率向上対策委員会 現状報告とアンケート依頼

⑦女性会員参画促進委員会 2015年から現在までの活動の振り返りと今後の活動について報告

⑧運転と作業療法委員会 指定自動車教習所との連携状況とマニュアル作成について

⑨「よんばち」移行後の運営について

協会内の委員会の一つだった47委員会から共同運営に代わる「日本作業療法士協会及び都道府県作業療法士会48団体連携協議会（通称よんばち）の具体的な運営方法についての提案

⑩士会活動報告

「ダイヤモンドを探せ」と題して複数士会から活動報告があった。当会からは「子育てや介護時の士会活動についての検討」を報告し好評をいただいた。妊活・子育てをテーマとしたが今後は介護と仕事との両立についても経験者を募っていきたいと発表した。

⑪士会活動振り返りシートからの情報交換

事前に配布された振り返りシートをもとに意見交換を行った。入会促進と事務局の体制について各士会の現状を報告。最も会員数の多い北海道からは理学療法学科に落ちて作業療法学科に入学する学生が増えており、学生がそもそも作業療法への関心が低いことがあるとのことであった。茨城県士会では県からの委託を受け、主に障害領域での虐待に関するマニュアルを作成中との情報共有があった。

当会からは会員増ワーキングについて報告した。全体でのまとめではeスポーツに関して話題となり、北海道での活動（個人にあわせてリモコンを作業療法士が作成している）が全国版の新聞に掲載されたことを受け、行政から同様の依頼が作業療法士会に直接きていること、各士会も動向を把握しておいた方がよいとのことであった。

## VI.その他 連絡事項等

### 1. 議事録署名人について

吉本事務局長から指名があり決定する。神保会長、野々垣監事、佐藤範明理事、西川理事。

### 2. 監事より

#### (1)野々垣監事

今月もお疲れさまでした。役員推薦については重要な事項ですので規程に合わせて検討を進めてください。また臨時理事会で引き続き検討をお願いします。

#### (2)錠内監事

お疲れさまでした。前回の役員選挙に関する振り返りに関しては、理事会にて必要と承認されるもしくは代表理事からその要請があれば行うことができますが、現状ではありませんので行いません。

三役互選に関しては当日の方法についての内規の整備は進んでいますが、事前の選挙活動に関しては現在明確な規程はありません。引き続き公正かつ円滑な運営が継続できるよう検討をお願いします。

議事録署名人	議長：	神保 武則	印
	理事：	佐藤 範明	印
	理事：	西川 航平	印
	監事：	野々垣 睦美	印

次回理事会日程：2023年4月20日(木)20時より開催予定